

質問事項		記述式回答
賃金の上昇及び設備投資の促進に必要な取組について		
1	<p>好調な企業収益や雇用環境の改善に比べ、賃金の上昇が緩やかとなっている要因、また、今後、賃金がさらに上昇していくために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。</p>	<p>企業が賃金の引き上げに慎重になっているのは将来の収益に不確実性があると考えているからだ。不確実性がある中で将来に渡る人件費の増加をコミットするのはリスクがあると判断しているのだろう。しかしそうした発想の背後には自らの商品の販売価格は将来に渡って上がらないという予想がある。つまり健全な価格支配力を企業がもっていないことが元凶である。この状況を打開するには、政府が経営者に対して賃上げを要請するというこれまでの方法では限界がある。最も有効な方法は、政府が直接コントロールできる賃金である公務員賃金を引き上げ、これを梃として民間企業の間でも賃上げムードを醸成することである。公務員賃金が先行して上がることになるため批判も少なくないだろうが、最終的には官民そろって賃金が上がり、それによって消費者の購買力が高まり、デフレ脱却に向かうという道筋をしっかりと示せば国民の納得を得られるのではないか。また、日銀の政策運営の枠組みを、現在の物価上昇ターゲットングから賃金上昇ターゲットングに切り替えるということも検討に値する。</p>
2	<p>好調な企業収益に比べ設備投資に力強さが欠けている要因、また、今後、設備投資(機械設備、構築物、研究開発等)を一層促すために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。</p>	